

授業、動き出す。

—関大PBL革命—

+ Cグループ：荒井・池田・高田・中尾

問題解決型学習

(Project Based Learning)

学生が自ら課題を発見し、その解決に向けてチームで取り組む学習手法



教育的意義

- ・ 学生が主体的に課題を発見し、チームで協働して解決策を導くプロセスを通じて、思考力・行動力・対話力を育成。
- ・ 実社会に近い課題に取り組むことで、学びが現実と結びつき、キャリア形成にも直結する。

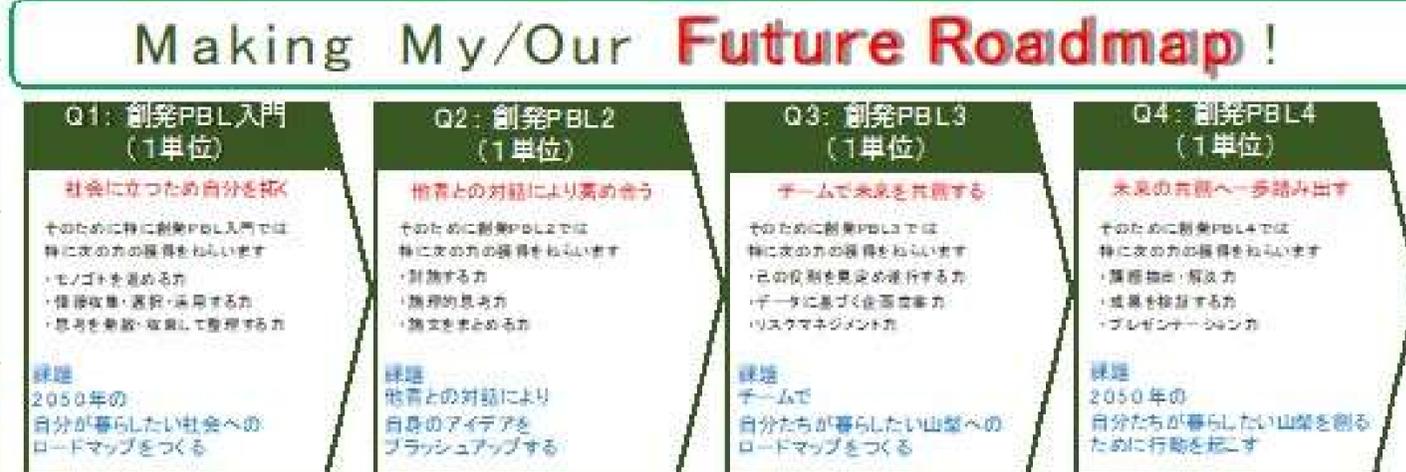


他大学の事例

1 山梨大学

創発PBL科目を必修
として位置づけ
〈特色〉

🔥 クォーター制による授業設計



2 一橋大学

PBL演習とデータサイエンス
を融合した実践的な学び
〈特色〉

🔥 実社会のデータおよび課題解決

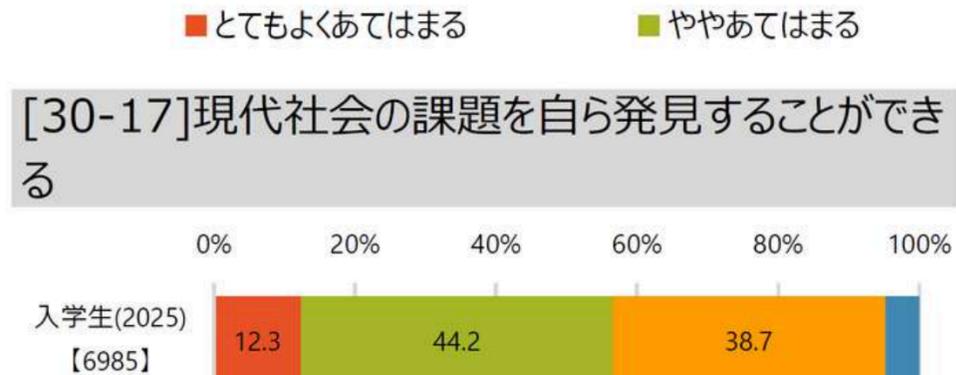
PBL(Project-Based Learning)演習



関西大学の現状①

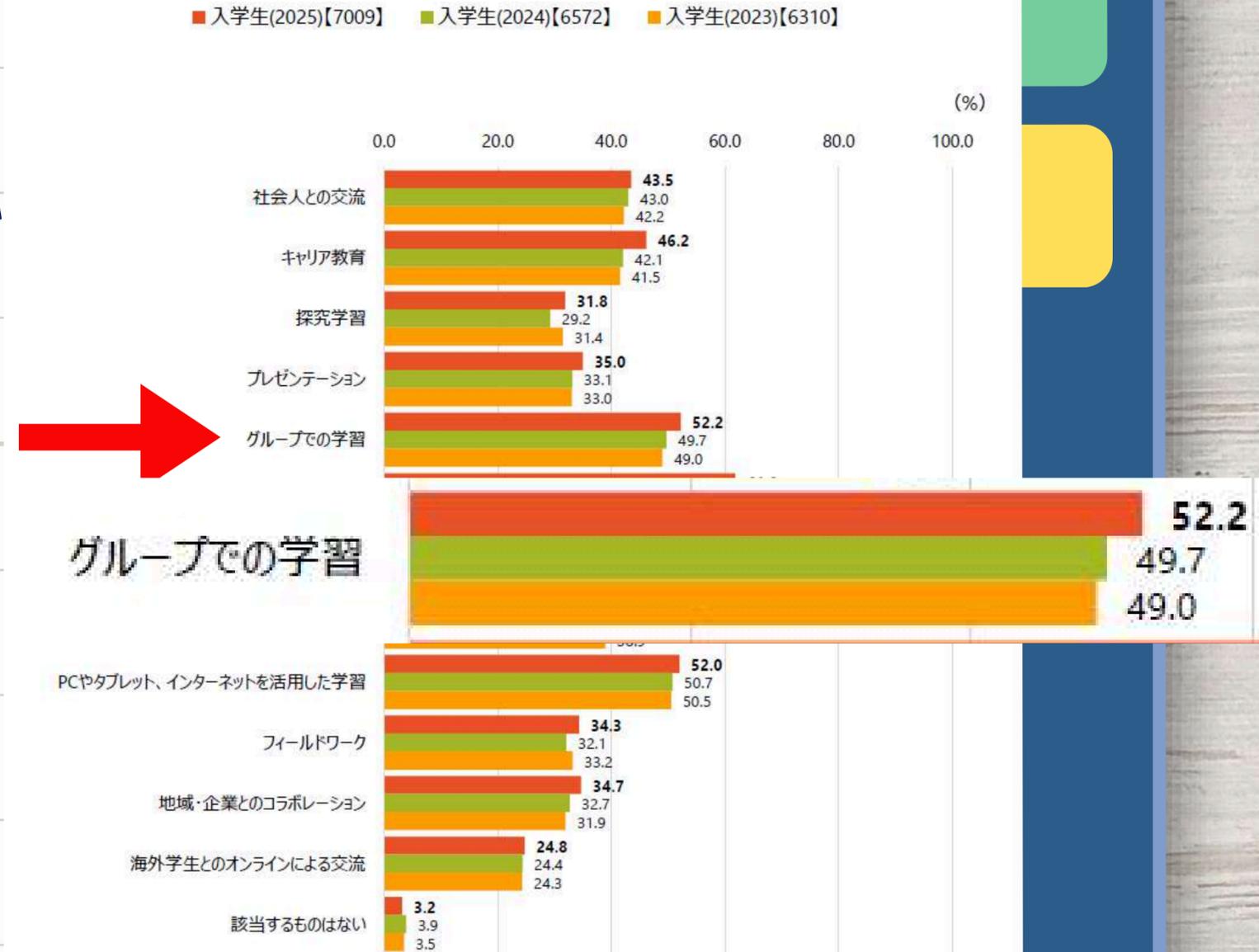
課題を自分で見いだせない
学生が増加、4割超

考動力コンピテンシー③



大学の授業で経験したいと思う活動

15.「大学の授業で経験したいと思う活動について、あてはまるものすべて選択してください。」



関西大学の現状② (学の実化!?)

- 卒業時調査の「あまりあてはまらない」が**20%超**の学部もある

- 1・2年生でのPBLの授業が必修化されていない

[40-09]社会が抱えている課題を把握し、解決に向けて踏み込むことができる

■とてもよくあてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■まったくあてはまらない



総合情報学部[240] 21.7 55.8 21.3



PBL革命への道筋 ～常識を覆す!?!～

1 PBL推進センターの設立

2 全学共通PBLのカリキュラム設計開発

3 企業や地域社会と連携し、PBLの
「プロジェクト・バンク（課題集）」を構築

4 PBLの必修化導入

PBLと共に生きる関大

- ★ 1年次から**実社会の課題**に触れることで、2年次以降の専門学習への動機づけとその先のキャリア（就職）を接続させる
- ★ 自ら課題を見つけ、解決策を模索する中で、**考動力**（自律力・人間力・社会力・国際力・革新力）が育まれる
- ★ 「**学の実化**」
関西大学の理念・目的

関西大学は、「学の実化(がくのじつげ)」を学是(理念)として掲げ、教育研究活動を展開しています。これは、本学が大学へ昇格した1922年に当時の総理事であった山岡順太郎が提唱したもので、「大学は教育研究に実社会の知識や経験を取り入れ、社会は大学の学術研究の成果を取り入れることによって、『学理と実際との調和』を求める考え方」です。提唱されてから100年が経った現在も、



学生×教員×職員の方で
 関大PBL革命を起こそう！

